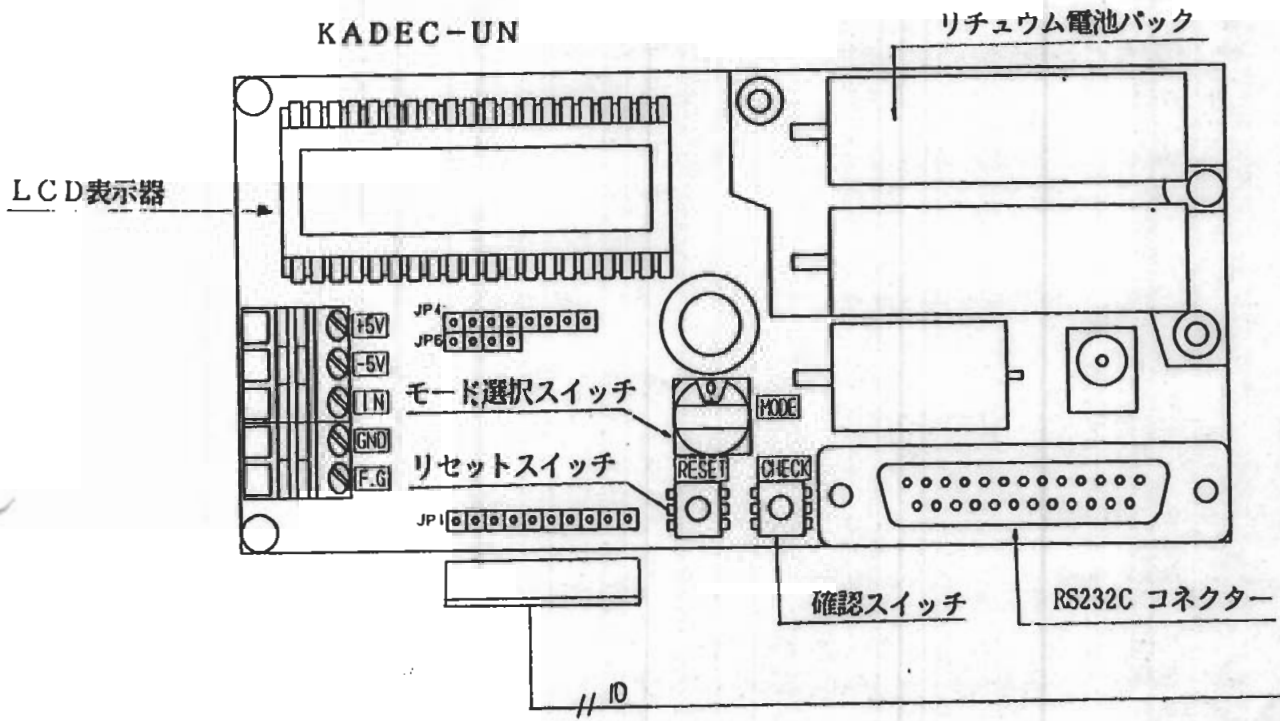


8チャンネル切替器 (KDC-P4-UN) 取扱説明書
(KADEC-UN用)
(暫定1版)

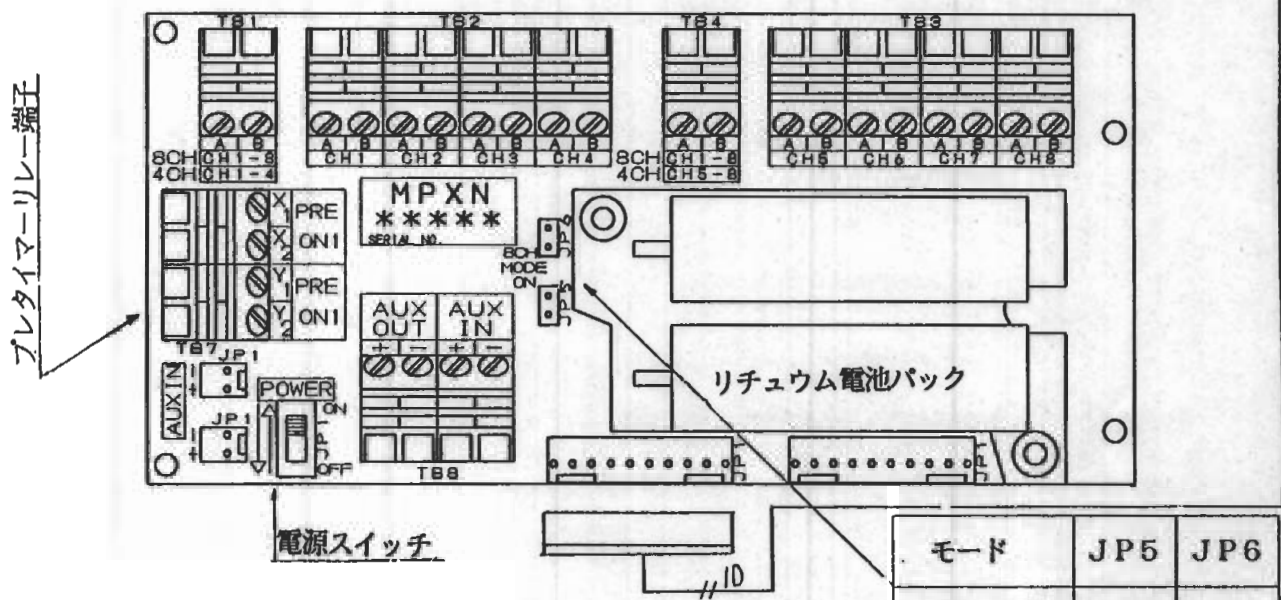
平成6年6月6日
コーナシステム株式会社

1. 各部の名称	2
2. 接続例	
2.1 8チャンネル温度測定センサー接続例	3
2.2 4チャンネル電圧出力センサー接続例	4
2.3 プレタイマー機能使用接続例	5
3. 操作方法	
3.1 測定前の設定操作手順	6
3.1.1 チャンネル数の設定及び各チャンネルの測定モードの設定操作手順	6
3.1.2 プレタイマーの設定について	6
3.1.3 測定インターバルの設定操作手順	7
3.2 測定開始の操作手順	7
3.3 測定終了操作手順	7
3.4 測定データの回収操作手順	
3.4.1 HANDY CARDによるデータ回収手順	8
3.4.2 パソコンによるデータ回収手順	9
3.5 保存時の操作及びスリープモードへの操作手順	9

1. 各部の名称 (KADEC-UNに接続状態)



チャンネル切替器 (KDC-P4-UN)



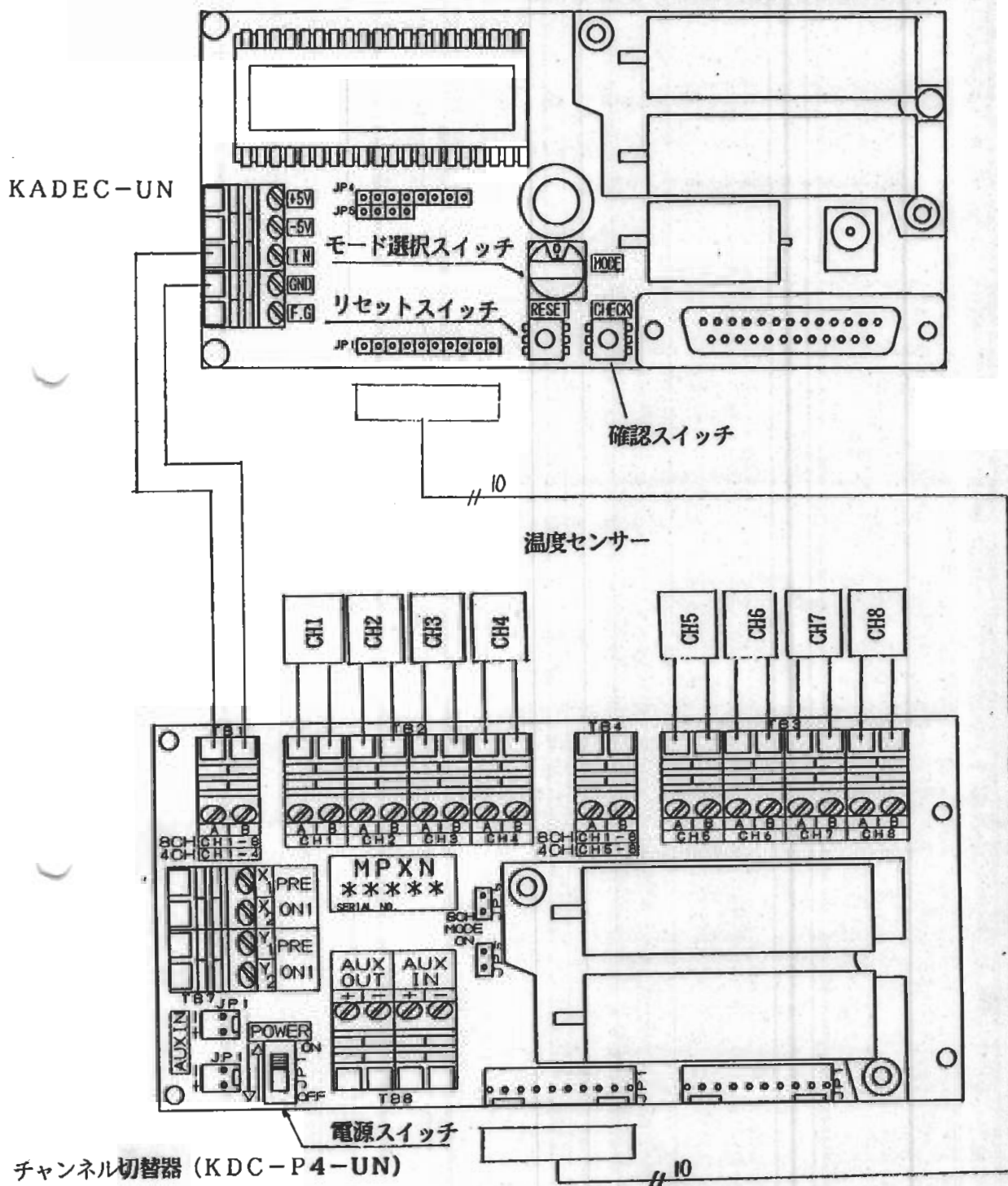
モード	JP5	JP6
4CHモード	OFF	OFF
8CHモード	ON	ON

(注意) 接続作業はKADEC-UN及びチャンネル切替器の電源スイッチをOFF (下側) にして行って下さい

2. 接続例

8チャンネル温度測定センサー接続例、4チャンネル電圧出力センサー接続例及び
 プレタイマー機能使用接続例を示します
 他の接続例はお問い合わせ下さい

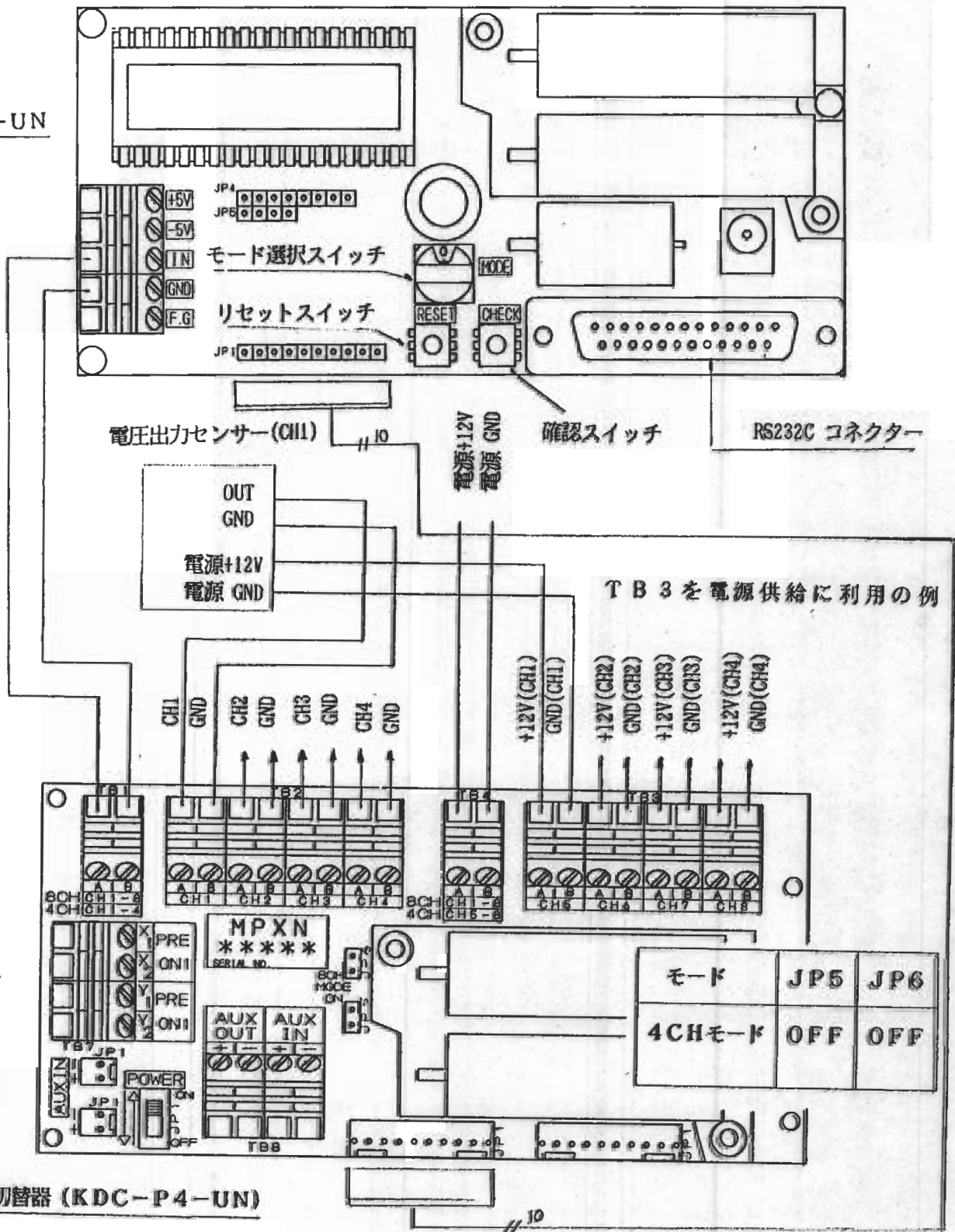
2.1 8チャンネル温度測定センサー接続例



(注意) 接続作業はKADEC-UN及びチャンネル切替器の電源スイッチ[POWER]を
 OFF (下側) にして行ってください

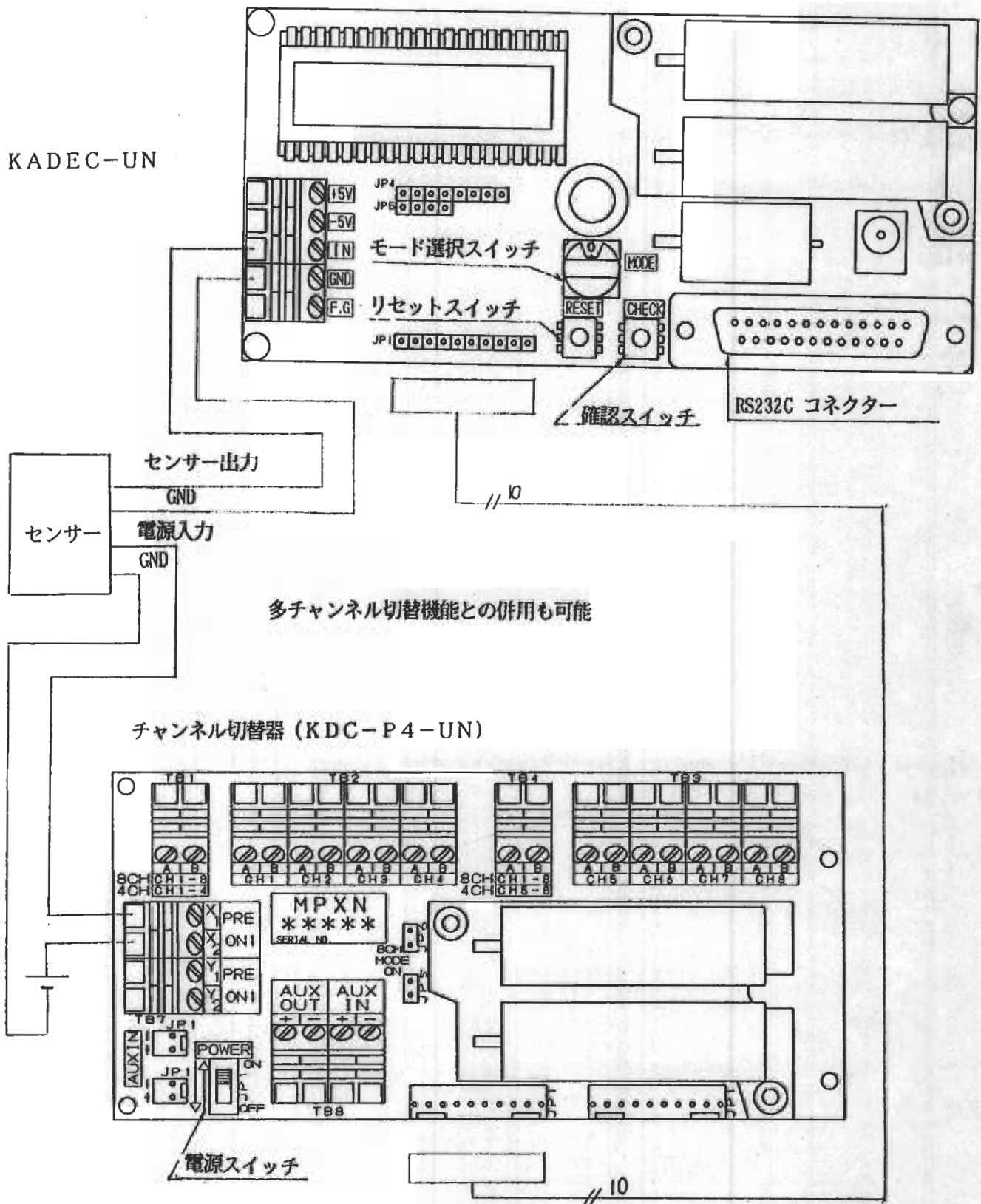
2.2 4チャンネル電圧出力センサー接続例

KADEC-UN



(注意) 接続作業はKADEC-UN及びチャンネル切替器の電源スイッチ[POWER]をOFF (下側) にして行ってください

2.3 プレタイマー機能使用接続例



(注意) 接続作業はKADEC-UN及びチャンネル切替器の電源スイッチ[POWER]をOFF(下側)にして行ってください

3. 操作方法

3.1 測定前の設定操作手順

測定前に必要な測定チャンネル数及び各チャンネルの測定モード、測定インターバルの設定操作手順について説明します

3.1.1 測定チャンネル数及び各チャンネルの測定モードの設定操作手順

操 作 手 順	
1	通信ケーブルを本機とパソコンのRS232Cコネクター間に接続します
2	本機のモード“選択スイッチを”0”に合わせ、リセットスイッチを押し通信モードにします
3	パソコンのスタンダードソフトVer3.06以降を立ち上げます メニュー 2 モニターを選択し サブメニュー1 通信接続(自動)を起動し サブメニュー6 多チャンネルモードの確認、変更を起動します
4	F. 4キーを押し使用するチャンネル数を入力します
5	スペース及び↓↑キーにて各チャンネルの測定モードを選択します (例1 電圧センサー使用の場合は2Vに設定します) (例2 サーミスター温度センサー使用の場合はTEMPの設定します)
6	ESCキーにてメインメニューに戻り、1. システムを選択し5. 終了にてスタンダードソフトを終了します (処理の途中でパソコンの電源を切らないでください。)

3.1.2 プレタイマーの設定について

プレタイマーの設定については当社営業所にお問い合わせ下さい

3.1.3 測定インターバルの設定操作手順

操 作 手 順

- 1 モード選択スイッチを”C”に合わせ、リセットスイッチを押します
- 2 LCD表示器に現在の設定が表示されます

LCD表示	測定インターバル
1MIN	1分
5MIN	5分
10MIN	10分
30MIN	30分
60MIN	60分
EXTTRIG	外部同期 (使用不可)
1SEC	1秒 (使用不可)
5SEC	5秒 (使用不可)
10SEC	10秒 (使用不可)

- 3 確認スイッチを約2秒以内に押す度にLCD表示器に順次9種類の測定インターバルが繰り返し表示されます
- 4 設定したいインターバル表示にて約2秒ほど待つと設定が完了し、スリープ表示します
(チャンネル切替器を使用の場合は1分以上のインターバルに設定して下さい)

3.2 測定開始操作手順

操 作 手 順

- 1 チャンネル切替器の電源スイッチ [POWER] をON (上側) にします
- 2 KADEC-UNのモード選択スイッチを”0”に合わせ、リセットスイッチを押します
- 3 モード選択スイッチを”1”に合わせ、リセットスイッチを押します

(注意)

- (1) 測定終了までモード選択スイッチを変えないで下さい
- (2) 手順2を省略すると前回測定データとの区別が出来なくなります

3.3 測定の終了操作手順

操 作 手 順

- 1 KADEC-UNのモード選択スイッチを”F”に合わせ、リセットスイッチを押します
- 2 チャンネル切替器の電源スイッチ [POWER] をOFF (下側) にします

3.4 測定データの回収操作手順

3.4.1 HANDY CARDによるデータ回収手順

用意する機材

- (1) HANDY CARD Pro (データ回収器)
- (2) メモリーカード (データ回収器にてフォーマット済 空き容量132Kバイト以上
アトリビュートメモリ付き)
- (3) 通信ケーブル (RS232Cクロスケーブル)

操作手順

- 1 通信ケーブルをKADEC-UNとデータ回収器のRS232Cコネクタ間に接続します
- 2 KADEC-UNのモード選択スイッチを”D”に合わせリセットスイッチを押します
- 3 確認スイッチを約2秒以内に押す度にLCD表示器に順次4種類の通信速度が繰り返し表示
されますので、9600BPSを選びます
約2秒程待つと通信速度の設定が完了しスリープ表示をします

手順2～3の通信速度の設定操作は一度設定すると本体に記憶され次回以降は省略できます

- 4 本機のモードスイッチを”0”に合わせ、リセットスイッチを押します
LCD表示が[COM9600]となり本機は9600BPSの通信モードになります
もし異なれば手順2に戻ります
- 5 データ回収器の電源を[ON]します
- 6 メニュー2.DATA COPYを起動、または F、Iキーを押すとデータ転送が始まります
- 7 転送完了後データ回収器の電源を[OFF]します
(詳しくは回収器の取扱説明書を参照下さい)

3.4.2 パソコンによるデータ回収操作手順

用意する機材

- (1) スタンダードソフト (Ver 3.0以上 または一部機能に制限がありますが Ver 2.8以上)
- (2) パソコン (スタンダードソフトの取扱説明書参照)
- (3) 通信ケーブル (RS 232Cクロスケーブル)

操作手順

- 1 通信ケーブルをKADEC-UNとパソコンのRS 232Cコネクタ間に接続します
- 2 KADEC-UNのモード選択スイッチを”D”に合わせ、リセットスイッチを押します
- 3 確認スイッチを約2秒以内に押す度にLCD表示器に順次4種類の通信速度が繰り返し表示されますので 下表の使用するソフトに合わせて選択します
約2秒程待つと通信速度の設定が完了しスリープ表示します

スタンダードソフト	設定通信速度
Ver 3.0以降	9600BPS
Ver 2.7以降3.0未満	4800BPS

手順2～3 通信速度の設定操作は一度設定すると本体に記憶され次回以降は省略できます

- 4 KADEC-UNのモードスイッチを”0”に合わせ、リセットスイッチを押します
通信モードに移行しパソコンからのコマンド待ちとなります
- 5 パソコンのスタンダードソフトを立ち上げます
Ver 3.0以降の場合
メニュー 3 データ転送を選択し
サブメニュー1 通信接続(自動)を起動し
サブメニュー3 データ転送ファイル作成(KADEC)を起動します

Ver 2.7以上3.0未満の場合
転送(F. 2)を起動し
保存(F. 6)を起動しファイルに保存します
(詳しくはスタンダードソフトの取扱説明書を参照下さい)

3.5 保存時の操作及びスリープモードへの設定操作手順

操作手順

- 1 KADEC-UNのモード選択スイッチを”F”に合わせ、リセットスイッチを押します
(現在時刻を表示後スリープモードとなります)
- 2 チャンネル切換器の電源スイッチ [POWER] をOFF (下側) にします